

弘前学院大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

○社会福祉学部

- 1 入学者一人一人が自ら考え、自ら行動することを通じて様々な生活課題を有する人や様々な課題を抱える地域を理解し、社会福祉および関連領域の知識や技能を総合的に活用しつつ他者とも協力してその問題を解決していくための資質や能力を体得できるような教育課程を編成しています。
- 2 社会福祉実践コースでは、支援を必要とする人の生活やところを深く理解すると共に、福祉政策や制度、インフォーマルケアを含む社会システムとの連携など、具体的支援のための方法を熟知した、福祉実践者である社会福祉士または精神保健福祉士を養成できるよう科目を設定しています。
- 3 人間科学コースでは、人間関係を築くためのコミュニケーション力や問題解決力、リサーチ力を身につけ、現代社会の課題である「共生社会」形成の担い手として、福祉領域に限らず広く社会で活躍・貢献できる人材を育成するための科目を設定しています。
- 4 社会福祉学における基本的知識、教養的知識に始まり、年次推移に従い社会福祉の専門的知識が醸成されるように順序立った科目を構成しています。

弘前学院大学のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

○社会福祉学部

基盤領域科目、総合領域科目、専門実践領域科目、自由選択科目のそれぞれについて示された単位数を満たして総計 124 単位以上を修得し、次に掲げる能力を身につけたものに学位を授与する。

- 1 様々な生活上の課題に対し、真摯に向き合い、あらゆる知識や技術を傾注し解決を図ろうとする人間性と創造性豊かなソーシャルワーカー等の福祉実践力を有している。
 - ・社会的視野を拡大するための知識を身につけている。
 - ・サービスを必要とする利用者の生活実態について正しく把握するための知識を身につけている。
 - ・社会福祉の専門職と呼ばれるにふさわしい知識と技術を獲得している。

- 2 自らの力で学ぶための基礎知識及び専門にとらわれない幅広い知識を身につけ、また、それらを将来にわたって活用することができる。

- 3 思考の柔軟性を持ち、論理的に考え、丹念に調べ、しっかり表現できるための基礎的能力と教養（知的関心）・学究的な態度を身につけている。

※アドミッション・ポリシーはホームページを参照のこと